平成２８年度　　事務事業評価シート

章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	Ⅱ	保健予防活動の充実
目標		市民が生涯にわたり心身の健康を確保できるよう、ライフステージ（生涯各期）に応じた適切な保健予防活動を推進する。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27
指標①	乳幼児健診の受診率	%	86.3	90.2	94.6	89.9	93.7	95.8	97.3	96.8
指標②	予防接種率	%	50.7	53.3	58.9	56.1	53.4	55.3	54.8	53.7

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　成人保健の充実	①　各種検診の充実と受診率の向上	・健康診査、胃がん検診、子宮がん検診などを実施し、疾病の早期発見・早期治療を図ります。
1-②	1　成人保健の充実	②　健康教育・健康相談体制の充実	・生活習慣病の予防など健康教育や健康相談体制を充実し、運動や栄養の面からの生活習慣改善を支援します。
2-①	2　母子保健の充実	①　妊産婦や乳幼児の保健指導の推進	・妊娠期から乳幼児期を通じた母子の健康を確保するため、乳幼児健康診査や妊婦健康診査に係る費用の助成を実施し保健指導を進めます。
2-②	2　母子保健の充実	②　新生児等への訪問指導の推進	・関係機関と連携し、新生児・乳児訪問、低体重児の出生把握による未熟児訪問など、きめ細かな新生児等への訪問指導を推進します。
2-③	2　母子保健の充実	③　健診・相談体制等の整備充実	・子どもが健全に育つため、子育て支援、虐待の未然防止、疾病・障がいの早期発見や早期療育の支援を推進します。
2-④	2　母子保健の充実	④　母子の歯科保健の充実	・歯科検診、フッ素化合物を利用したむし歯予防対策など歯科保健の充実に努めます。 ・ライフステージ（生涯各期）において歯の健康を守る取組を進めるとともに、親子むし歯予防教室を開催するなど口腔衛生指導の充実に努めます。
3-①	3　予防医療（感染症対策）の充実	①　感染症の知識の普及啓発	・伝染病やエイズなど感染症に対する正しい知識の普及啓発及び情報提供を図ります。 ・エキノコックス症の感染を予防するため、正しい知識の普及啓発を図るとともに早期発見・早期治療のための検診体制の充実に努めます。
3-②	3　予防医療（感染症対策）の充実	②　予防接種の接種率の向上	・予防接種による免疫効果や安全性等の情報を提供するとともに予防接種の勧奨に努め接種率の向上を図ります。

Plan ・ Do

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業	事業概要：事業の目的	年度	※ハード事業の場合は、施設名を記載：対象者等	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
1	1-①	短期人間ドック助成事業 12211004	保健福祉部	国民健康保険G	H元	―	ソフト	国民健康保険特別会計		若い世代から、生活習慣病の予防を図ることを目的とする。	H26	20歳以上40歳未満の国民健康保険被保険者	短期人間ドックを受診した被保険者に対し、検査料の一部を助成した。	登別市国民健康保険短期人間ドック助成実施要領
											H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
											H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
2	1-①	脳ドック助成事業 12211005	保健福祉部	国民健康保険G	H14	―	ソフト	国民健康保険特別会計		脳ドックを受診することにより、脳血管疾患などを早期に発見し、早期治療につなげることを目的とする。	H26	20歳以上の国民健康保険被保険者	脳ドックを受診した被保険者に対し、検査料の一部を助成した。	登別市国民健康保険脳ドック助成実施要領
											H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり
											H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり

NO	事業の成果、目標：指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
1	短期人間ドック受診者数	人	15	12	30	30	30	30
	主な生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症等）に係る１人当たり医療費を全道平均以下にする（毎年5月ﾚｾﾌﾟﾄ分析：上段が道・下段が当市）疾病分類121分類より	円	2,781 2,447	2,689 2,627	2,689	2,689	2,689	2,689
2	脳ドック受診者数	人	271	251	360	340	340	340
	脳疾患（循環器系の疾患）に係る１人当たり医療費を全道平均以下にする（毎年5月ﾚｾﾌﾟﾄ分析：上段が道・下段が当市）※疾病分類20分類の循環器系の疾より	円	4,777 5,344	4,586 5,030	4,586	4,586	4,586	4,586

NO	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】：名称		H26 決算	H27 決算	H28 予算	H29 予算案	H30 予算案	H31 予算案
1	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他	国民健康保険税	570	431	1,099	764	764	764
	一般財源							
	合　計		570	431	1,099	764	764	764
2	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他	国民健康保険税	3,909	3,591	5,426	4,531	4,531	4,531
	一般財源							
	合　計		3,909	3,591	5,426	4,531	4,531	4,531

Check

NO	年度	第2期基本計画第3次実施計画期間（H24～H27）及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
1	H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	生活習慣病の早期発見・早期治療につながることから、今後も事業を継続することが相当である。
	H27	上記のとおり		
	H28	上記のとおり		
2	H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	脳血管疾患などの早期発見・早期治療につながることから、今後も事業を継続することが相当である。
	H27	上記のとおり		
	H28	上記のとおり		

Action

NO	今後の事業の方向性【H29以降】
1	事業を継続し生活習慣病の予防を図っていく。
2	事業を継続し、脳血管疾患などの早期発見・早期治療を図っていく。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業	Plan ・ Do 事業概要					事業の成果、目標							各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】								Check 第2期基本計画第3次実施計画期間(H24～H27)及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H29以降】
										事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標	名称		H26決算	H27決算	H28予算	H29予算案	H30予算案	H31予算案				
3	1-①	各種がん検診料金助成金	保健福祉部	国民健康保険G	H13	－	ソフト	国民健康保険特別会計		がんの早期発見、早期治療を目指すことを目的とする。	H26	国民健康保険被保険者	各種がん検診等を受診した被保険者に対し、自己負担分を助成した。 【事業実績（受診者数）】 胃がん検診（397人）、大腸がん検診（943人）、肺がん検診（1,235人）、乳がん検診（305人）、子宮頸がん検診（262人）、前立腺がん検診（718人）、肝炎ウイルス検査（74人）、女性(39歳以下)の健康診査（14人）	健康増進法	肺がん検診受診者数	人	1,235	1,278	1,274	1,230	1,230	1,230	国庫支出金								H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	がんの早期発見、早期治療につながることから、今後も事業を継続することが相当である。	事業を継続し、がんの早期発見・早期治療、医療費の削減を図っていく。
																							道支出金												
											H27	上記のとおり	上記のとおり 【事業実績（受診者数）】 胃がん検診（972人）、大腸がん検診（972人）、肺がん検診（1,278人）、乳がん検診（356人）、子宮頸がん検診（244人）、前立腺がん検診（655人）、肝炎ウイルス検査（66人）、若い世代(19～39歳)の健康診査（13人）	上記のとおり								地方債												H27	上記のとおり			
															がんに係る１人当たり医療費を全道平均以下にする(毎年5月ﾚｾﾌﾟﾄ分析：上段が道・下段が当市) ※疾病分類20分類の新生物より	円	4,047 7,062	4,078 4,730	4,078	4,078	4,078	4,078	その他	国民健康保険税	4,924	4,819	5,357	5,443	5,443	5,443				
											H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									一般財源												
		12211006																					合 計		4,924	4,819	5,357	5,443	5,443	5,443				
4	1-①	インフルエンザ予防接種助成金	保健福祉部	国民健康保険G	H13	－	ソフト	国民健康保険特別会計		高齢者等がインフルエンザに罹患するのを防ぎ、罹患しても重症化するのを防ぐことを目的とする。	H26	国民健康保険被保険者	65歳以上の国民健康保険被保険者と60歳以上65歳未満で身体障害者手帳１級（心臓、腎臓、呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能のみ）を所持する国民健康保険被保険者に対し、インフルエンザ予防接種の自己負担額を助成した。 【事業実績】 ・65歳以上：2,740人 ・60歳以上65歳未満：132人	予防接種法	接種率 ※（接種者数）／（被保険者数）で積算	%	47.0	45.7	50.0	50.0	50.0	50.0	国庫支出金								H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	インフルエンザの罹患や重症化の予防につながることから、今後も事業を継続することが相当である。	事業を継続し、高齢者等のインフルエンザの予防、医療費の削減を図っていく。
																							道支出金	北海道国民健康保険調整交付金	3,302	3,815	4,528	2,317	2,317	2,317				
											H27	上記のとおり	上記のとおり 【事業実績】 ・65歳以上：2,716人 ・60歳以上65歳未満：119人	上記のとおり								地方債												H27	上記のとおり			
															65歳以上の被保険者の内、5割以上の接種を目標とする。(上段は65歳以上被保険者数の約5割の人数、下段は接種者人数)	人	3,050 2,872	3,100 2,835	2,750	2,750	2,750	2,750	その他	国民健康保険税	3,440	3,996	4,679	2,462	2,462	2,462				
											H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									一般財源												
		12211007																					合 計		6,742	7,811	9,207	4,779	4,779	4,779				
5	1-①	健康診査事業	保健福祉部	健康推進G	S57	－	ソフト	一般会計		市民を対象とした健康診査の実施により、生活習慣病の早期発見と疾病初期での早期治療を推進し、市民の健康の保持・増進を図ることを目的とする。	H26	40歳以上の市民（子宮頸がん20歳以上女性、前立腺がん50歳以上男性）	市民を対象に健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診を実施した。 【事業実績（受診者数）］ 胃がん検診（1,140人）、大腸がん検診（2,710人）、肺がん検診（3,122人）、乳がん検診（1,118人）、子宮頸がん検診（1,201）、前立腺がん検診（1,293人）、肝炎ウイルス検査（1,001人）、歯周疾患検診（25人）	健康増進法・がん対策基本法	大腸がん検診受診者数	人	2,710	2,667	2,800	2,800	2,800	2,800	国庫支出金	がん検診推進事業費補助金	3,893	1,024	475	694	694	694	H26以前	平成26年度から、乳がん、子宮頸がんについてはそれぞれ40歳、20歳の新規対象者に無料クーポンを交付し、過去の無料クーポン券対象者のうち未利用者に対して、再度無料クーポンを交付して受診勧奨を行うコールリコールを追加実施している。	拡大	市民を対象とした各種健康診査を実施することにより、疾病の早期発見、早期治療ができ、市民の健康の保持・増進に資することができるため、事業の継続は必要である。さらに一歩進んだがん予防対策として、ピロリ菌検査を導入し、5年間の成果を分析評価していく。 また、平成28年度より、ピロリ菌検査の対象を中学生に拡大し実施することにより、さらなる胃がん予防の推進を図る。	受診の個別勧奨や未受診者対策を実施するなど、より一層受診者の拡大を図り、市民の健康増進の向上に努めていく。
																							道支出金	健康増進事業費補助金	2,627	2,680	4,528	3,677	3,677	3,677				
											H27	40歳以上の市民（子宮頸がん20歳以上女性、前立腺がん50歳以上男性、ピロリ菌50歳55歳60歳65歳の節目年齢）	市民を対象に健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診を実施した。 【事業実績（受診者数）］ 胃がん検診（1,067人）、大腸がん検診（2,864人）、肺がん検診（3,330人）、乳がん検診（937人）、子宮頸がん検診（768）、前立腺がん検診（1,135人）、肝炎ウイルス検査（1,057人）、歯周疾患検診（58人） ピロリ菌検査（488人）	上記のとおり								地方債												H27	乳がん、子宮頸がんについてはそれぞれ40歳、20歳の新規対象者に加えて５歳刻みの過去５年間の未受診者にも無料クーポンを交付。また過去の無料クーポン券対象者のうち未利用者に対して、コールリコールを継続実施。 胃がんのリスク検査として成人期の節目年齢を対象としたピロリ菌検査を導入。			
															肺がん検診受診者数	人	3,122	3,116	3,200	3,200	3,200	3,200	その他	健康診査受診者負担金・後期高齢者医療広域連合健やか推進事業補助金・ふるさとまちづくり応援寄附金	5,155	7,077	7,009	5,583	5,583	5,583				
											H28	40歳以上の市民（子宮頸がん20歳以上女性、前立腺がん50歳以上男性、ピロリ菌50歳55歳60歳65歳の節目年齢及び中学２・３年生）	上記に加え、ピロリ菌検査については、成人の節目年齢対象者に加え、中学２年生（初年度は３年生も含む）の若年層にも対象を拡大して実施する。	上記のとおり								一般財源		33,403	29,460	33,216	33,521	33,521	33,521	H28	乳がん、子宮頸がんについてはそれぞれ40歳、20歳の新規対象者に加えて５歳刻みの過去５年間の未受診者にも無料クーポンを交付。 胃がんのリスク検査として平成27年度に導入したピロリ菌検査について、成人期に加え、中学２年生（初年度は３年生も含む）も対象とし実施する。なお、中学生については、除菌、治療までを助成の対象とする。			
		12211009																					合 計		45,078	40,241	45,228	43,475	43,475	43,475				
6	1-①	後期高齢者保健事業費	保健福祉部	年金・長寿医療G	H21	－	ソフト	一般会計		検診と運動機会の増加を図ることにより、後期高齢者医療被保険者の健康を増進することを目的とする。	H26	後期高齢者医療制度被保険者	後期高齢者医療制度の被保険者に対し、短期人間ドック、脳ドック、千円ドックの受診、水中運動教室への参加に要する費用の一部を助成した。	高齢者の医療の確保に関する法律、登別市高齢者医療短期人間ドック助成実施要領、登別市高齢者医療脳ドック助成実施要領、登別市後期高齢者医療千円ドック助成実施要領、登別市民プールを中運動教室参加助成実施要領	各種ドック受診者数（上段：短期人間ドック、中断：脳ドック、下段：千円ドック）	人	112 75 107	164 57 103	194 81 117	173 65 116	173 65 116	173 65 116	国庫支出金								H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	後期高齢者の健康増進のために必要な事業であり、かつ、北海道後期高齢者医療広域連合の補助を受けて実施していることから、有効性と効率性が認められる。	今後も後期高齢の健康増進のために積極的に取り組んでいく。
																							道支出金												
											H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債												H27	上記のとおり			
															水中運動教室参加者数	人	258	278	319	330	330	330	その他	長寿・健康増進事業補助金	5,451	6,507	8,098	7,152	7,152	7,152				
											H28	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		87	243	112	94	94	94	H28	上記のとおり			
		12211011																					合 計		5,538	6,750	8,210	7,246	7,246	7,246				

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業	Plan ・ Do 事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】								Check				Action
										事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標	名称		H26 決算	H27 決算	H28 予算	H29 予算案	H30 予算案	H31 予算案	第2期基本計画第3次実施計画期間(H24～H27)及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H29以降】
7	1-①	若い世代の健康診査	保健福祉部	健康推進G	H27	－	ソフト	一般会計		健診を受ける機会の少ない若い世代を対象に健康診査を実施することにより、生活習慣病の早期発見と疾病初期での早期治療を推進し、市民の健康保持・増進を図ることを目的とする。	H26		女性のための健康診査として、H26度まで実施。		若い世代の健康診査受診者数	人	－	108	160	160	160	160	国庫支出金								H26以前		拡大	生活習慣病の予防には若い時期からの生活改善が必要であり、本事業を通じて、生活習慣病の早期発見につながることから、対象者について、女性だけでなく男性も対象として、検診機会の確保に努める。 また、平成28年度より個別集団検診を導入することで、受診拡大を目指す。	平成27年度から対象者を拡大した新たな制度を運用することにより、生活習慣病の早期発見・早期治療、生活習慣の改善に努めていく。
																							道支出金												
											H27	19歳～39歳までの市民で健診を受ける機会がない人	健診を受ける機会の少ない若い世代を対象に、健康診査を実施した（集団検診）。 【検診内容】 問診、血液検査、尿検査、血圧測定、身体計測 【検診方式】 集団健診（年２日間）	健康増進法									地方債								H27	女性のための健康診査の対象者を男女に拡大し、平成27年度より新たな事業として実施。			
															－	－	－	－	－	－	－	－	その他	健康診査受診者負担金		20	38	38	38	38					
											H28	上記のとおり	総合福祉センターでの集団健診方式に加え、JCHO登別病院での個別健診方式を導入して、実施する。	上記のとおり									一般財源			663	976	1,058	1,058	1,058	H28	健診方式を集団健診に加え、個別健診も導入し、対象者利便性を図り、受診拡大を目指す。			
		12211013																					合 計		0	683	1,014	1,096	1,096	1,096					
8	1-①	疾病予防・重症化予防対策助成事業	保健福祉部	国民健康保険G	H27	－	ソフト	国民健康保険特別会計		市民プールに係る利用料の一部を助成し、運動の機会を拡大することにより被保険者の健康の保持・増進・疾病の重症化予防を図ることを目的とする。	H26				市民プール助成利用者数	人	－	73	290	160	160	160	国庫支出金								H26以前		維持	健康の保持・増進と疾病予防・重症化予防に資することから今後も事業を継続することが相当である。	事業を継続し疾病予防・重症化予、防進を図っていく。
																							道支出金												
											H27	大学生以上の国民健康保険被保険者	大学生以上の国民健康保険被保険者に対し、市民プールに係る６か月間利用料の一部を助成した。	登別市国民健康保険加入者への「市民プール利用料助成」実施要領								地方債								H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
															主な生活習慣病(高血圧・糖尿病・脂質異常症等)に係る１人当たり医療費を全道平均以下にする（毎年5月ﾚｾﾌﾟﾄ分析：上段が道・下段が当市）疾病分類121分類より	円	－	2,689 2,627	2,689	2,689	2,689	2,689	その他	国民健康保険税・いきいきふるさと推進事業助成		79	365	195	195	195					
											H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									一般財源								H28	上記のとおり			
		12211015																					合 計		0	79	365	195	195	195					
9	1-②	水中運動教室受講者助成経費	保健福祉部	国民健康保険G	H16	－	ソフト	国民健康保険特別会計		水中運動教室への参加機会を拡大することにより、健康の保持・増進を図り、被保険者の健康管理に対しての自覚と認識を促すことを目的とする。	H26	国民健康保険被保険者	市民プールで実施の水中運動教室に参加する被保険者に対し、１教室（月４回）の受講料月額2,100円のうち、1,000円を助成した。 【事業実績】 ・実人数　88人 ・延べ人数　920人	登別市民プール水中運動教室参加助成実施要領	水中運動教室参加者数	人	920	969	1,100	1,045	1,045	1,045	国庫支出金								H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	改善	健康の保持・増進に資することから今後も事業を継続することが相当であるが、平成27年度をもっていきいきふるさと推進事業助成金が終了することを契機に、事業の縮小も含め今後の方向性を検討する。	事業の縮小も含め今後の方向性を検討する。
																							道支出金												
											H27	上記のとおり	上記のとおり 【事業実績】 ・実人数　93人 ・延べ人数　969人	上記のとおり									地方債								H27	平成27年度をもっていきいきふるさと推進事業助成金が終了することを契機に、事業の縮小も含め今後の方向性を検討する。			
															主な生活習慣病(高血圧・糖尿病・脂質異常症等)に係る１人当たり医療費を全道平均以下にする（毎年5月ﾚｾﾌﾟﾄ分析：上段が道・下段が当市）疾病分類121分類より	円	2,781 2,447	2,689 2,627	2,689	2,689	2,689	2,689	その他	国民健康保険税・いきいきふるさと推進事業助成	920	969	1,100	1,045	1,045	1,045					
											H28	上記のとおり	上記の内容で受講料月額2,300円のうち、1,000円を助成	上記のとおり									一般財源								H28	上記のとおり			
		12212003																					合 計		920	969	1,100	1,045	1,045	1,045					
10	2-①	妊婦保健事業	保健福祉部	健康推進G	H23	－	ソフト	一般会計		妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図るとともに、親になる準備の支援や子育てにつながる支援を行うことを目的とする。	H26	妊婦	妊婦健康診査費用の一部を助成 【事業実績】 ・妊娠届出数：307人 ・妊婦一般健康診査：１人当たり14回助成（3,669件） ・超音波検査　　１人当たり４回助成（1,163件） すこやかマタニティ教室 ・2日間コース×4回＝８回 ・教室参加者　妊婦：52人　夫：32人	母子保健法	妊娠届出時にアンケートを実施して、妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握している割合 ※健やか子２１（第２次）の指標を参照	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100%	100%	国庫支出金								H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	核家族化が進み、乳児にふれあう機会が少ない現代において、新生児（乳児）の抱き方、オムツ交換など基本的な育児手技の体験を望む夫婦がふえている。マタニティ教室において、具体的な育児のイメージができ、親性の育成につなげることができる。	すこやかマタニティ教室においては、平成27年度に1日コースを試行的に実施して好評であったため、今後も継続して実施していく。
																							道支出金												
											H27	上記のとおり	妊婦健康診査費用の一部を助成 【事業実績】 ・妊娠届出数：331人 ・妊婦一般健康診査：１人当たり14回助成（3,928件） ・超音波検査　　１人当たり４回助成（1,240件） すこやかマタニティ教室 ・2日間コース×4回＝８回 ・1日コース×3回＝3回　　合計11回実施 教室参加者　妊婦：71人　夫・実母：54人	上記のとおり									地方債								H27	平成27年度より、マタニティ教室について、試行的に従来の2日間コースに1日コースを追加して、参加者の拡大を図っている。			
															－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
											H28	上記のとおり	妊婦健康診査費用の一部を助成 【事業実績】 ・妊娠届出数： ・妊婦一般健康診査　１人当たり14回助成 ・超音波検査　　１人当たり４回助成 すこやかマタニティ教室 ・2日間コース×4回＝８回 ・1日コース×3回＝3回　　合計11回実施予定	上記のとおり									一般財源		20,840	22,276	22,220	22,884	22,884	22,884	H28	平成27年度より、試行的に実施してきたマタニティ教室1日コースを、平成28年度についても継続して実施する。			
		12221005																					合 計		20,840	22,276	22,220	22,884	22,884	22,884					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業	Plan ・ Do 事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】								Check			Action
										事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標	名称		H26 決算	H27 決算	H28 予算	H29 予算案	H30 予算案	H31 予算案	第2期基本計画第3次実施計画期間(H24～H27)及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H29以降】
11	2-①	乳幼児保健事業	保健福祉部	健康推進G	H23	－	ソフト	一般会計		乳幼児期における子どもの順調な成長・発達を促すとともに、養育者への子育て支援により虐待の未然防止を図ることを目的とする。	H26	就学前の乳幼児とその保護者	○乳幼児健康診査：小児科医師（内科医師）・歯科医師の診察、保健師・栄養士の相談、心理士・療育相談員の発達相談、歯科衛生士の指導 ○赤ちゃん訪問（全世帯）、乳幼児訪問、乳幼児健康相談 【事業実績】 健診・親子相談は毎月１回 ４か月児健診：307人、1歳６か月児健診：324人、3歳児健診：309人、10か月児健康相談：290人、乳幼児相談：315人、赤ちゃん訪問：300人		４か月児健康診査未受診率 ※健やか親子２１（第２次）指標を参照	%	3.2%	3.2%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	国庫支出金								H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	妊娠期から乳幼児期に至るまでの子育て期において、訪問や健診等で切れ目のない支援を実施することで、育児不安の軽減につながり、乳幼児虐待予防にもつながる事業であり、今後も事業の継続が相当である。	乳幼児に関わる関係機関と連携し、子育て支援の充実に努めていく。
																							道支出金												
											H27	上記のとおり	上記のとおり 【事業実績】 健診・親子相談は毎月１回 ４か月児健診：271人、1歳６か月児健診：301人、3歳児健診：328人、10か月児健康相談：284人、乳幼児相談：358人 赤ちゃん訪問：対象332人中、327人に実施 未訪問の5件の対応：来所相談２件、４か月健診確認２件、里帰り先に転出１件								地方債								H27	平成27年度より、マタニティ教室について、試行的に従来の2日間コースに1日コースを追加して、参加者の拡大を図っている。				
															対象家庭全てに対し、乳児家庭全戸訪問事業を実施している割合 ※健やか親子２１（第２次）指標を参照	%	99.7%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	その他												
											H28	上記のとおり	上記のとおり実施中										一般財源		2,360	2,301	2,382	2,316	2,316	2,316	H28	平成27年度より、試行的に実施してきたマタニティ教室1日コースを、平成28年度についても継続して実施する。				
		12221006																					合 計		2,360	2,301	2,382	2,316	2,316	2,316					
12	2-④	幼児歯科保健対策事業	保健福祉部	健康推進G	H元	－	ソフト	一般会計		保護者の口腔衛生意識の向上を図り、必要な知識・技術をを身につけ、むし歯を予防することを目的とする。	H26	4歳未満の児童とその保護者	【フッ素塗布】1歳６か月児健診に合わせて、希望者に対しフッ素を塗布し、その後、4歳未満まで６か月おきに４回塗布を実施。 【親子むし歯予防教室】広報紙掲載の他に、10か月健康相談時に周知をして、申込み制で実施している。 ・内容:歯科医師による検診・講話、ブラッシング指導、フッ素塗布。保健師・栄養士による健康相談等 ・実績：年２回　36組73人		むし歯のない3歳児の割合 ※健やか親子２１（第２次）指標を参照	%	80.1%	80.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	国庫支出金								H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	むし歯予防についての取り組みは、将来にわたり健康的な口腔機能の維持につながり、今後も事業を継続することが妥当である。	むし歯所有率などのデータから事業が効果的であるかを継続して分析していく。
																							道支出金												
											H27	上記のとおり	【フッ素塗布】1歳６か月児健診に合わせて、希望者に対しフッ素を塗布し、その後、4歳未満まで６か月おきに４回塗布を実施。 【親子むし歯予防教室】広報紙掲載の他に、10か月健康相談時に周知をして、申込み制で実施している。 ・内容:歯科医師による検診・講話、ブラッシング指導、フッ素塗布。保健師・栄養士による健康相談等 ・実績：年２回　33組67人								地方債								H27	上記のとおり				
															－	－	－	－	－	－	－	－	その他	幼児歯科保健収入	511	464	496	480	480	480					
											H28	上記のとおり	上記のとおり実施中										一般財源		184	249	221	189	189	189	H28	上記のとおり				
		12224001																					合 計		695	713	717	669	669	669					
13	3-①	エキノコックス症予防対策	保健福祉部	健康推進G	S50	－	ソフト	一般会計		エキノコックス症患者の早期発見、早期治療のために血清検査等の諸対策を実施することで、市民の健康の保持・増進を図ることを目的とする。	H26	市民（血清検査については、小学校３年生以上で初めて検査を受ける者もしくは前回検査から５年を経過した者）	広報・リーフレット・立て看板等により市民周知、注意喚起を行うとともに、血清検査を実施した。 【血清検査受診者数】２人	北海道エキノコックス症対策実施要領、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）	血清検査陽性者数	人	0	0	0	0	0	0	国庫支出金								H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	エキノコックス症は感染してから発病するまでの潜伏期間が長く、予防が可能で早期発見、早期治療も可能な疾患であることから、感染予防のための知識の普及啓発とともに、血清検査による早期発見、早期治療の両側からアプローチすることで、エキノコックス症を予防できることから、事業の継続が相当である。	感染予防に関する知識の普及啓発を行うとともに血清検査の実施を継続していく。
																							道支出金												
											H27	上記のとおり	上記のとおり 【血清検査受診者数】７人	上記のとおり									地方債								H27	上記のとおり				
															－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
											H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									一般財源		45	51	58	83	58	58	H28	上記のとおり				
		12231001																					合 計		45	51	58	83	58	58					
14	3-②	予防接種事業	保健福祉部	健康推進G	S23	－	ソフト	一般会計		各種の予防接種を実施して免疫をつけることで、感染症による病気の発生を未然に防ぐことにより、保健予防活動の充実を図ることを目的とする。	H26	予防接種法により定期予防接種の対象となっている市民	予防接種法に基づき、各種感染症にかかる定期予防接種を実施した。 【事業実績】 Ａ類：ポリオ241人、ＢＣＧ328人、3種混合92人、4種混合1,243人、2種混合371人、麻しん風しん混合686人、ヒブ1,317、肺炎球菌(小児)1,283人、水痘763人 Ｂ類：インフルエンザ(高齢者)8,854人、肺炎球菌(高齢者)1,731人	予防接種法	ＢＣＧの接種者数	人	328	285	320	320	320	320	国庫支出金								H26以前	平成24年９月不活化ポリオワクチンの導入により個別接種開始。 平成26年度より３種ワクチン(ヒトパピローマ、ヒブ、小児肺炎球菌)の期接種化に伴い、３種ワクチン接種助成事業を廃止して予防接種事業に統合。 平成26年10月より水痘及び肺炎球菌(高齢者)を追加。	拡大	予防接種は、多くの疾病の流行の防止に大きな効果をあげ、感染症による患者の発生や死亡者の大幅減少をもたらすなど、感染症対策上きわめて重要な役割を果たしてきていることから、事業の継続が相当である。 また、平成28年10月より、Ｂ型肝炎ウイルス予防接種が予防接種法により、定期接種と位置付けられたことから、これを追加して実施する。	市民の免疫水準の維持のため、予防接種法に基づき、予防接種事業を実施することで、市民の接種機会を安定的に確保するとともに、接種率の向上に努める。
																							道支出金												
											H27	上記のとおり	上記のとおり、定期予防接種を実施した。 【事業実績】 Ａ類：ポリオ64人、ＢＣＧ285人、3種混合1人、4種混合1,147人、2種混合395人、麻しん風しん混合590人、ヒブ1,176、肺炎球菌(小児)1,162人、水痘640人 Ｂ類：インフルエンザ(高齢者)8,889人、肺炎球菌(高齢者)1,531人	上記のとおり									地方債								H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。				
															－	－	－	－	－	－	－	－	その他	インフルエンザ予防接種料負担金、後期高齢者医療広域連合すこやか推進事業費補助金	7,290	8,432	9,823	5,401	5,401	5,401					
											H28	上記のとおり	上記に加え、日本脳炎予防接種を平成28年４月から追加して実施中。 また、平成28年10月よりＢ型肝炎ウイルス予防接種を定期接種として開始する。	上記のとおり									一般財源		103,228	97,427	133,151	143,048	143,048	143,048	H28	平成28年４月より日本脳炎予防接種を定期接種として開始。 また、平成28年10月からＢ型肝炎ウイルス予防接種を定期接種として実施する。				
		12232001																					合 計		110,518	105,859	142,974	148,449	148,449	148,449					